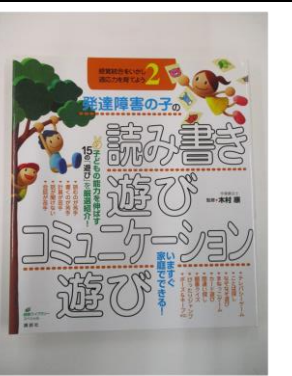
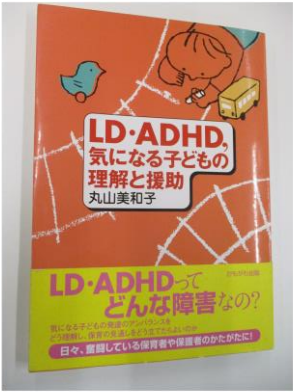
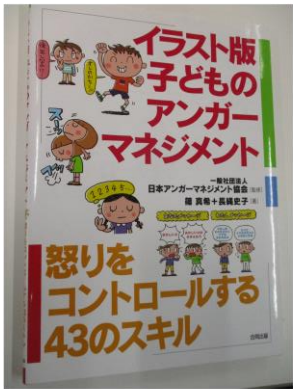
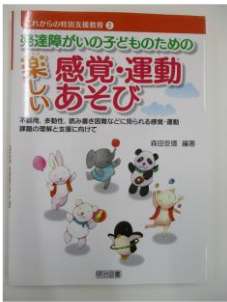
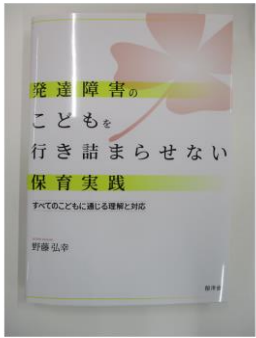


No.	本の表紙	本の紹介
1		発達障害のある子どもへの支援をわかりやすいイラストで優しく紹介。子どもにとってのより適切な支援と、日々努力されている保育者に役立つ内容。幼稚園・保育園といった集団生活の中でありがちなケースについてその場での対処法、してはいけないNGな対応、具体的な支援の方法をイラストで紹介。子どもにとって適切で役立つ支援につなげる。
2		自閉症の子どもと障害をもたない子どもとの間や、授業中に起こりがちな事例を取り上げ、自閉症の子どもが「なぜそんな行動をするのか」「どう対処したらいいか」を自閉症の子ども本人、周りの子どもや先生双方の視点から紹介。障害の解説はもちろん、自閉症をもっと知りたい人へ役立つ情報などを掲載。
3		アメリカで最も売れている緘黙支援ガイドブックの待望の翻訳。場面緘黙に対するアメリカで1番の心理療法家による場面緘黙の子ども達へのケアとアセスメントの為の一冊。
4		なぜ男性に多い？脳の構造が違う？様々な「仮説」はどこまで正しい？アスペルガー症候群・自閉症の“知りたいこと”を世界的権威が平易に語る。
5		かつてネットで公開するや14万シェアを超えるほど大反響を呼んだその「声かけ変換表」を6年の歳月を経て、大幅に追加し書籍化したもの。3人の子ども達の子育て真っ最中の著者が、かつては怒ってばかりだった自身の経緯や、その後の子ども達の成長と変化、思春期の関わり方、SNS等で寄せられた多くの声などを踏まえ、発達障害のある・なしにかかわらず、どんな子にも伝わりやすい166もの声かけ変換例を、身近な話で「具体的に」「わかりやすく」お伝えしていく。

6		何のために検査を行うのかを明確にして、活用の仕方を分かりやすく解説。検査は子どもにレッテルを貼ったり、識別するためのものではありません。子どもを理解し、子どもを中心としたチーム支援を促進するためのものです。園や学校と共有できる検査活用サポートシートつき！
7		「怒り・イライラ」とじょうずにつき合うコツを、親子で楽しく学べる初めての絵本！ 怒りの感情が生まれるしくみや、怒りっぽい自分をコントロールする方法などを、わかりやすく解説。
8		LD、ADHD、自閉症（アスペルガー症候群）…発達障害のある子ども達への具体的な支援のしかたを、生活面・行動面からイラストで紹介。
9		発達障害がある子は視覚や聴覚、筋肉の感覚に独特の偏りがあり、それが問題行動を生じさせる。子どもの生活適応能力を向上させる15の遊びを厳選紹介。
10		読み書きが苦手、計算が不得意、指示が理解できない…。発達障害の子の勉強面、コミュニケーション面の悩みとその対策となる「遊び」を徹底解説。親子で楽しく遊びながら感覚を働かせ、読み書きや言葉、数の基礎となる力を育てていきましょう。

1 1		発達障害のある子ども（LD、ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症）の中でも、特に成長段階において幼児（幼稚園、保育園）の頃は、肉親、関係者などは、いちばん神経を使うところです。理解できない日常生活の中で、どのように対応したらよいのか？具体的な実践サポートの方法が分かりやすい図解イラストで要約されています。
1 2		療育現場のプロが教える、発達障害のある1～6歳児の興味・関心にあわせた「あそび」と、「かかわり方」のコツ。 身近な材料で、安全に、お家でもできる、あそびのアイデアがいっぱい！ 一人ひとりにお気に入りの遊びが見つかります。発達障害についての知識が少ない保護者や保育者にも理解してもらえるように、イラスト付きで丁寧に解説。子どもとあそぶ時間が、もっと豊かで楽しくなる本。
1 3		LD か ADHD の子ども、あるいは両方持っている子どもの相談ケースが増えている。LD、ADHD とはどういう障害なのか？このような子どもをどう理解し、保育の見通しをどう立てたらよいのかということを中心に解説。
1 4		読み書きや運動が苦手だったとしても、たいていは、その子の能力の問題として片付けられてしまいます。しかし、じつは発達障害や、視覚機能の問題が背景となっている場合があります。子どもが読み書きや運動を極端に苦手としている場合、背景に視覚機能の問題があるかもしれません。この本で紹介されているビジョントレーニングには、家庭で楽しみながら簡単にできるものがたくさんあります。
1 5		子どもの苦手は遊びで減らせます。この本で、子どもの苦手を発見し、苦手の原因を理解し、苦手を解消する遊びをたくさん知ることができます。気持ちの表れ方や反応が親の常識とは違う発達障害の子ども達を理解して、上手に育てるためのガイドブックです。

1 6		72のQ&Aをベースに、緘黙経験者や保護者らの生の声などを載せた110のコラム、そして17の具体的な実践で構成され、保護者と教師が場面緘黙を分かりやすく理解するための基本的な情報を網羅しています。
1 7		ともだちにずるされたとき、割り込みされたとき、理由はわからないけどなんだかイライラするとき……。学校やともだち同士でよくある、ついイラっとしてしまう場面。アンガーマネジメントを身に付け、じぶんの怒りをコントロールする練習をしよう！すぐに使えるワークが満載！
1 8		すぐキレる、ケンカが絶えない。集中できない、忘れものが多い。大人の言うことを聞かない…。こんな子どもたちに今すぐできることは？先生や保護者の悩みにズバリこたえます！日常の対応から病院のかかり方と治療までADHDを一問一答形式で分かりやすく解説。
1 9		LD、ADHD など発達障がいの子どものには大脳機能の基礎にある感覚・運動面での発育が大きな影響を与える。本書は感覚・運動の機能を10の領域から解説、保育・教育現場、家庭で楽しい96のあそびを紹介する。イラスト豊富にねらいや方法、支援のポイントが示されている。
2 0		発達障害やそれが推測される子どもへの保育実践がまとめられています。「グレーゾーンの子ども」「気になる子ども」とも表されて、かつては「問題児」「困った子」とも呼ばれた子どもについて、保育者が「行動の理由を推しはかることに戸惑い、対応に困る」姿や場面を整理して、その理由と望ましい対応をできる限りわかりやすく解説しています。保育内容と保育実践を見直し、保育者による関わりの質向上につなげ、こうしたこどもたちを「行き詰らせない」保育実践をめざす。